

第2次佐賀市スポーツ推進計画 令和2年度(2020年度)～令和6年度(2024年度)

■施策
誰もが親しめる市民スポーツの充実

■目指す姿
市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている。

■成果指標と目標値

成果指標	単位	2013策定時 基準値	2018現在 基準値	2019現在	2024将来 目標値
日常的に(週に1回以上)運動・スポーツをしている市民の割合	%	48.5	50.6	54.8	60.0
運動やスポーツが好きな小中学生の割合	%	—	88.3	89.1	95.0

■取組方針
市民のライフステージに応じた健康・体力づくりを進めるため、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに接することができる環境づくりに取り組みます。



目標

日常的に(週1回以上)スポーツをしている市民の割合を令和6年度(2024年度)までに60.0%へ引き上げる

運動やスポーツが好きな小中学生の割合を令和6年度(2024年度)までに95.0%へ引き上げる

基本施策	具体的施策(2020～2024)	R2(2020)年度 事務事業等	R2(2020)年度 事業実績(成果)	令和3年度に向けての課題・方向性
1 生涯スポーツの推進	(1) ライフステージに応じたスポーツの推進 ・子どものスポーツ推進 ・ビジネスパーソン・女性のスポーツ推進 ・高齢者のスポーツ推進 ・障がい者のスポーツ推進 ・地域のスポーツ活動の推進 ・生涯学習や健康づくり等関連部局との連携	・佐賀市スポーツ少年団育成事業 ・スポーツきっかけづくり推進事業 ・市内中小企業向け広報誌へのスポーツ情報の掲載 ・スポーツ推進委員協議会活動推進事業 ・障がい者スポーツ教室開催の広報 ・総合型地域スポーツクラブ支援事業 ・さが桜マラソン大会開催事業 ・スポーツ教室開催補助事業 ・プロスポーツ連携事業	・佐賀市スポーツ少年団大会(7月・9月・10月)、親子SHIPS交流大会(12月)開催 ・ニュースポーツ・出前講座の開催(小中学校学年活動、各地区老人クラブ等 8件:中止4件) ・佐賀青年会議所での講演・ニュースポーツ体験教室(2月) ・佐賀市まなざしスポーツ・レクリエーション祭(10月)開催(障がい者スポーツの普及) ・スポーツ推進委員協議会と老人クラブ連合会とのニュースポーツ体験講習会実施(7月、11月) ・総合型スポーツクラブ連絡協議会研修会(11月)(県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会) ・総合型地域スポーツクラブ九州ブロックネットワークアクション(1月)(県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会) ・さが桜マラソン2021(3月21日)⇒新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンライン大会にて実施 ・マラソン講習会「走り続ける先にさが桜マラソンがある」(11月)の開催 ・各種スポーツ教室の開催(卓球&ラージボール卓球:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため申請後中止) ・キッズB&Dチャレンジプロジェクトの実施(9月～3月) ・子育てママのスポーツ教室の実施(9月～3月)	・スポーツ少年団の新規団員募集の推進 ・親子SHIPS交流大会の内容の検討 ・ニュースポーツ・出前講座の積極的な周知啓発の継続 ・出前講座を通じたPTAや子ども会等への積極的なニュースポーツの推進 ・ビジネスパーソンを対象にした事業の展開 ・佐賀県障がい者スポーツ協会との連携 ・まなざしスポーツ・レクリエーション祭の開催方法等の検討(障害者スポーツの普及等) ・スポーツ推進委員協議会の地域連携事業の推進 ・市老人クラブ連合会との連携事業の継続 ・総合型地域スポーツクラブとまちづくり協議会等関係団体との連携 ・さが桜マラソン2022に向けてイベントや内容の見直し ・育児期の母親を対象にしたスポーツ教室の継続 ・佐賀ハルナーズとの連携による子どものスポーツ活動の二極化解消 ・サガン鳥栖との連携による子どものスポーツ実施のきっかけづくり ・サガン鳥栖との連携による障害者スポーツの啓発
	(2) スポーツを支える人材の育成・支援 ・地域スポーツに携わる人材の育成及び支援 ・スポーツボランティアの養成及び支援 ・スポーツボランティアの登録推進	・スポーツ推進委員協議会活動推進事業(再掲) ・総合型地域スポーツクラブ支援事業(再掲) ・さが桜マラソン大会開催事業 ・東京2020オリンピック聖火リレー運営事業 ・スポーツボランティア推進事業	・スポーツ推進委員協議会定例研修会のテーマ「誰でも楽しんで参加できるスポーツを学び・広めよう」(7月・3月) ・ユニファイドスポーツ2020 ボウリング大会(10月)(N'VALVEが日本主催)にスポーツ推進委員13名参加 ・初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の情報発信(11月開催) ・さが桜マラソン(さくらマラソンサンクスデー)の開催(3月21日) ・東京2020オリンピック聖火リレーボランティア募集(1月～3月) ・スポーツボランティア登録制度の運用(要綱の制定・チラシの作成) ・佐賀ハルナーズホームゲーム親子職業体験の実施(12月～3月)	・スポーツ推進委員によるスポーツボランティア活動の連携・支援 ・佐賀県障害者スポーツ指導者協議会との連携 ・障がい者スポーツ指導員資格の取得推進 ・さが桜マラソン2022開催に伴うボランティア募集のやり方検討 ・富士しゃくなげ湖ハーフマラソンの実行委員会組織の強化 ・聖火リレー、事前合宿でのボランティア活動を契機としたスポーツボランティア登録誘導 ・ボランティアの新規企業・団体・学生への働きかけ ・大会毎のボランティア情報の共有化 ・佐賀ハルナーズと連携した支える立場でのスポーツとかかわる機会創出
	(3) スポーツによる「交流」の推進 ・スポーツ合宿等の積極的誘致 ・スポーツ大会やイベント開催による交流人口の拡大 ・スポーツ情報の積極的な発信 ・他分野とのコラボレーションによるスポーツの魅力発信 ・国際交流や経済団体等との連携	・スポーツ合宿推進事業 ・サガン鳥栖交流宣言事業 ・さが桜マラソン大会開催事業 ・東京2020オリンピック聖火リレー運営事業 ・プロスポーツ連携事業 ・情報発信事業 ・東京2020オリンピック・パラリンピック選手応援・支援事業	・スポーツ合宿補助 3団体(陸上1件、サッカー1件、ボート1件) ・サガン鳥栖応援バスツアー(3件)、サッカー教室(幼稚園、保育園、小学校など 29件) ・佐賀ハルナーズ自由席割引チケット販売(2020-21シーズン) ・佐賀ハルナーズ、サガン鳥栖ホームゲームのマッチスポンサー(サガン鳥栖…9月、佐賀ハルナーズ…2月) ・スポテン佐賀2020開催(11月) ・SNSでのプロチームの試合結果、代表チーム等のキャンプ情報の発信 ・障害者スポーツイベントや資格取得情報の発信 ・ホームページ、SNSを活用した大会情報等の発信 ・フリーペーパーを活用した情報発信 ・市スポーツキャンプ誘致・交流推進協議会の活動 トヨタ紡織ボート部キャンプ受入(仮設トイレ・更衣用テント設置、練習機器手配) 学校給食での東京2020オリンピック事前合宿実施国料理提供(7月～3月) (ニュージールランド…33校のべ36回、フィンランド…41校のべ42回、タイ…41校のべ46回) 事前合宿実施国の文化理解講座の実施 (ニュージールランド…久保泉小5年生、フィンランド…東与賀小6年生、タイ…久保泉小3年生)	・大規模スポーツ大会等の事前キャンプ受入体制の整備 ・合宿・キャンプ受入時の選手との交流の機会の創出 ・大学、プロ、実業団等国内団体の合宿誘致営業活動継続 ・合宿・キャンプ実施団体、選手による情報発信協力の積極的な働きかけ ・合宿・キャンプの情報発信強化 ・サガン鳥栖との連携による地域の魅力発信 ・佐賀ハルナーズ、サガン鳥栖を活用した見るスポーツでの交流人口の拡大 ・県内プロスポーツチームとの連携によるスポーツイベントの実施 ・障がい者のスポーツ実施率の向上 ・スポーツ大会や教室情報等のホームページやフェイスブック等での情報発信 ・市スポーツキャンプ誘致・交流推進協議会の活性化 ・佐賀市出身選手情報の積極的な発信(東京2020オリンピック・パラリンピック) ・東京2020オリンピック・パラリンピック事前合宿の受入機運の醸成
2 競技スポーツの推進	(1) スポーツ指導者等の資質向上 ・ジュニア期のスポーツ指導者の育成・支援 ・ジュニア期のスポーツ指導者の交流による資質向上及び保護者への啓発	・スポーツ指導者育成事業 ・プロスポーツ連携事業	・少年スポーツのあり方についての取組方針の周知・啓発 ・相談窓口の設置 ・少年スポーツクラブ実態調査の実施(7月)(177クラブ) ・少年スポーツ指導者教本を活用した少年スポーツ指導者研修会開催(8月) ※3月開催予定の軟式野球を対象にした研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・市・スポーツ少年団合同少年スポーツ指導者・保護者講演会(3月) ・少年スポーツのあり方についての取組方針の推進 ・指導者資格の取得情報やスポーツ指導者研修会等の積極的な情報発信 ・少年スポーツ指導者資格取得費補助金(バスケットボールD級ライセンス3名取得)	・少年スポーツのあり方についての取組方針の周知及び啓発の継続 ・相談窓口体制の確立(市教委、学校、保護者、競技団体、スポーツ関係者等) ・研修会、講習会等の充実 ・指導者資格に関する情報発信と資格取得への支援 ・少年スポーツクラブへの訪問により実態の把握 ・佐賀ハルナーズとの連携によるスポーツ指導者の指導技術向上
	(2) 競技力向上のための連携・支援 ・アスリートの発掘・育成のための支援体制の整備 ・トップチームやアスリートによる技術指導の実施 ・大会(障がい者スポーツも含む)の開催支援 ・全国大会等出場への支援 ・(公財)佐賀市体育協会との連携 ・国スポ・全障スポ実施競技団体等との連携	・スポーツ合宿推進事業 ・各種スポーツ大会開催補助事業 ・市民体育大会開催事業 ・校区対抗駅伝大会開催事業 ・県民スポーツ大会開催負担金 ・各種大会出場助成事業 ・東京2020オリンピック・パラリンピック選手応援・支援事業 ・(公財)佐賀市体育協会への活動支援 ・プロスポーツ連携事業	・佐賀市小中学生各種スポーツ大会等出場激励金の交付(10競技18件)【全国大会10件、九州大会8件】 ・各種大会出場補助金(3競技) ・各種スポーツ大会開催補助(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため富士しゃくなげ湖ハーフマラソン等中止) ・第73回市民体育大会の開催(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ・第73回市民体育大会の開催(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ・第73回県民スポーツ大会への参加(10月)(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため20競技中13競技で開催) ・第69回校区対抗駅伝大会の開催(1月)(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ・第61回県内一周駅伝大会の開催(2月)(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため日程を短縮して開催) ・佐賀ハルナーズ、サガン鳥栖によるクリニック開催(2月、3月)	・市体協、県、関係団体との連携、体制整備 ・第74回市民体育大会の内容の見直し(選手の選出方法等) ・校区対抗駅伝大会の活性化 ・オリンピックや国体等の佐賀市出身選手への支援体制の整備 ・サガン鳥栖との連携によるジュニア選手の競技力向上 ・佐賀ハルナーズとの連携による佐賀国スポターゲットエイジ選手の強化
3 スポーツ施設の整備と活用	(1) スポーツ施設の整備・充実 ・安全・安心・快適に利用できる施設の整備 ・多様なニーズに対応できる設備の充実 ・地域ごとの特色を活かした施設の整備 ・国スポ・全障スポに対応した施設整備	・スポーツ施設の計画的な改修 ・富士しゃくなげ湖ボート・カヌー競技施設整備事業 ・久保田グラウンド改修事業	・スポーツ施設全般の修繕、改修(施設全般の老朽化対応など) ・富士しゃくなげ湖ボート・カヌー競技施設整備にかかる基盤整備(造成工事等) ・久保田グラウンド補完整備(防球ネット・夜間照明設備等) ・スポーツ施設の備品拡充及び計画更新(整備機械・トレーニング機器など)	・「佐賀市スポーツ施設整備基本計画」に基づき、順次、必要な整備を行う ・地域ごとの特色を活かし、施設の機能拡充及び集約・再配置を検討 ・市民が安全・安心・快適に利用できる施設の老朽化対策等 ・国民スポーツ大会会場及び練習会場の必要に応じた整備 ・利用者の利便性や障がい者スポーツの向上を図るための施設整備
	(2) スポーツ施設の有効活用 ・指定管理者による管理・運営の拡充 ・利用しやすい施設予約システムの普及 ・自主事業の充実による利用者の拡大 ・学校体育施設の有効活用	・指定管理者及び市直営による施設の管理運営 ・学校体育施設開放事業の実施 ・施設予約システムの普及及び利用促進 ・指定管理者制度の拡充検討 ・指定管理者による自主事業等の開催	・指定管理者によるきめ細かな管理運営 ・市内小中学校の体育館及びグラウンドで、各学校体育施設開放運営委員会と連携を図りながら開放事業を実施 ・学校開放事業に必要な、スポーツ用具等の購入 ・指定管理者による積極的な自主事業の実施(スポーツ教室など) ・直営施設の円滑な管理運営を実施	・積極的な指定管理者制度の導入検討 ・利用者ニーズの的確な把握によるサービス向上、適切な維持管理(環境美化など) ・簡単に使い勝手のよい予約システムの構築検討 ・予約システムの周知や魅力ある施設情報の発信 ・施設の特色を活かした魅力ある自主事業の展開(⇒施設の利用促進) ・利用方法の見直しや利用調整を行いながら、スポーツ施設との相互利用の推進 ・利用者ニーズに対応した備品等の整備 ・利用種目の拡充(フットサル利用など)検討